

URL <http://www.nsc.co.jp/product/fukkou/>



「新日鉄グループの復興技術・まちづくり支援」をウェブサイトに掲載

主なポイント

- 港湾、河川、道路・鉄道、防災拠点、地盤対策、ライフライン、住宅、エネルギー、一般建築物、廃棄物処理の10項目に用途を分類し、用途ごとに検索、閲覧が可能。
- 復興時をイメージした「俯瞰図」「多重防御」「高台移転・職住分離」の3つの切り口から検索、閲覧が可能。
- 図・写真を多用し、技術、製品、ソリューションを視覚的にわかりやすく提示。



- 新日鉄グループを網羅(新日鉄、日鉄住金建材(株)、日鉄住金鋼板(株)、新日鉄エンジニアリング(株)、日鉄トピーブリッジ(株)など)。
- プロジェクト開発部、建材事業部、スラグ・セメント事業推進部、東北支店にまたがる「復興支援プロジェクトチーム」を窓口とし、電話やファックスのほか、メールでもご相談いただくことができる。

新日鉄復興支援プロジェクトチーム(東北支店建材グループリーダー) **赤尾 賢明**

本サイトは各自自治体が復興計画を策定する際に参考としていただくことを念頭に置き、同時に新日鉄グループとして復興需要を捕捉していくための起点とすることも指向し、問い合わせ対応やグループ各社サイトとの連携機能など新しい機能を盛り込んでいます。

お問い合わせ先 新日鉄復興支援プロジェクトチーム
03-6867-6357(土木関連)
03-6867-6385(建築関連)
03-6867-6199(スラグ)
022-227-2771(東北支店)

東日本大震災の被災地の復旧・復興が進められる中、災害に強いまちづくり・インフラの実現に向けて、今後、具体的な施策が行われていくこととなる。こうした中で、被災地の皆様、設計会社、設計コンサルティング会社、建設会社をはじめとする建築・土木関係の皆様などに、当社グループが貢献できる技術、製品、ソリューションを、よりわかりやすくご理解いただけるよう、新日鉄ウェブサイトに「新日鉄グループの復興技術・まちづくり支援」をアップした。

経営
釜石製鉄所
石炭揚陸設備とパイプコンベアの稼働を再開

釜石製鉄所は9月9日、東日本大震災により損傷し復旧作業を行ってきた自社港湾・物流設備に関して、石炭揚陸設備と、卸電力発電設備まで石炭を輸送するパイプコンベアの稼働を再開した。

両設備の稼働再開に伴い、卸電力発電設備の安定操業体制が確立された。釜石製鉄所電力工場は、岩手県で最大の出力規模を有し、県内の一般世帯の電力需要の約4割をま

かなうことが可能であり、今後も電力需給のひっ迫が想定される状況下、引き続き電力工場の安定操業を通じ、電力の安定供給に努めていく。

総務部広報センター
▲03-68667-2135
213521462147



石炭揚陸の様子

グループ
(株)エヌエスオカムラが
釜石製鉄所内で事業継続

(株)岡村製作所と新日鉄は、両社の出資会社で東日本大震災により生産を停止していた(株)エヌエスオカムラについて、釜石製鉄所構内で事業を再開させる復興計画を決定した。2012年5月中の生産再開を目指す。岡村製作所と新日鉄は、エヌエスオカムラの生産活動と雇用の継続を通じ、被災地の復興に貢献していく。

総務部広報センター
▲03-68667-2135

技術
カルシア改質土で
津波泥土を建設資材に変える実証実験

新日鉄と新日鉄エンジニアリング(株)は9月12〜22日の間、被災地の津波泥土を建設資材に変える実証実験を、仙台市宮城野区で行った。この試験は、津波泥土に製鉄工程で発生する副産物を原料とするカルシア系改質土を混合し、土質を改良して建設資材としての再利用を図るもので、混合方法としては大量の津波泥土を処理できる回転式破砕混合工法を採用している。

総務部広報センター
▲03-68667-2135



回転式破砕混合プラントと改質された良質な土

がれきを含んだ
泥土

経営
「アニアルレポート2011」を発行

新日鉄は年次報告書と会社概要を兼ねた「アニアルレポート2011」を発行した。2011年度版のタイトルは「Building a Bold Future」。現在、検討が進められている住

友金属工業(株)との経営統合(2012年10月1日予定)を踏まえ、国内外の事業基盤の強化を図るとともに、グローバル生産・供給ネットワークをさらに拡大・深化させ、世界の伸



びゆく鉄鋼需要を新日鉄グループの成長に取り込み、未来を切り拓いていくとの決意が込められている。

総務部広報センター
▲03-68667-2146

技術
高強度ラインパイプ用鋼管の敷設溶接技術
米エクソンモービルからライセンス供与

新日鉄と米国エクソンモービル・コーポレーションは、同社が保有する高強度ラインパイプ用鋼管(米国石油協会規格X120)の敷設溶接技術について、世界で初めてライセンス供与契約を締結した。本契約により、新日鉄はX120ラインパイプ用鋼管の製造技術と共に、敷設時の中核技術である敷設溶接技術をあわせ持つ世界初の鋼管メーカーとなる。X120はX80規格と比べ1.5倍の強度を持ち、高圧・大径輸送による経済性に優れたパイプラインの敷設を可能とする。



X120 ラインパイプ用鋼管

総務部広報センター
▲03-68667-2146

新日本製鉄発信のプレスリリースは、ホームページに全文が掲載されていますのでご参照ください。

紀尾井ホール 新日鉄文化財団 公演ご案内

リスト誕生 200 年 特別企画 リスト × リスト

第1回 11月6日(日) / 15:00
ピアノ：ダーヴィド・パール
ヴァイオリン：松野弘明
第2回 11月16日(水) / 19:00
ピアノ：パラージュ・フレイ

第1回「超絶技巧の饗宴と多彩なる編曲」

パガニーニ：
24のカプリース
より第9番、24番



ダーヴィド・パール

リスト：
パガニーニ大練習曲集より第5番、6番、3番
「ラ・カンパネラ」

リスト編曲：
リゴレット・パラーフェズ
(ヴェルディ)



松野弘明

イゾルデの愛の死
(ワーグナー)
ほか

第2回「豊かな民族色と深遠なる精神性」

リスト：
2つのチャールダーシュ



パラージュ・フレイ

ハンガリー狂詩曲より第2番、6番、15番
2つの伝説、ピアノ・ソナタ
口短調 ほか

19世紀中頃、ヨーロッパ社交界の貴婦人たちが虜にし、その変幻自在で華麗な技巧から“ピアノの魔術師”と呼ばれたリスト。奔放な女性遍歴の後、後半生は聖職の道へ進み、その音楽はやがて精神的・宗教的なものへと昇華する。リスト74年の生涯の多彩なピアノ作品をハンガリーの新星ダーヴィド・パールとパラージュ・フレイの演奏でお楽しみください。

スケジュール

11月15日(火) / 19:00

新日鉄プレゼンツ

ニュー・アーティスト・シリーズ 第24回 田中拓也(サクソフォーン)

ブルームス：ソナタ第2番ホ長調 Op.120-2
ドビュッシー：シランクス、サクソフォーンのための狂詩曲 ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先
紀尾井ホールチケットセンター (日・祝休)

TEL 03-3237-0061

http://www.kioi-hall.or.jp



新日鉄 内田常務取締役(左から4番目)とアルセロールミタル米国社 リッピー社長(右から3番目)

総務部広報センター
▲03-6867-2135

コート社は北米で自動車向けの高品位表面処理鋼板を製造することを目指して建設され、1991年に操業を開始した。

経営
米国アイ・エヌ・コート社
操業20周年記念式典を
開催
新日鉄とアルセロールミタルの米国合弁会社アイ・エヌ・コート社が操業20周年を迎え、8月19日に現地で記念式典を行った。アイ・エヌ・コート社は北米で自動車向けの高品位表面処理鋼板を製造することを目指して建設され、1991年に操業を開始した。

総務部広報センター ▲03-6867-2135・2146・2147

メセナ
韓国POSCOと音楽交流
スチール&ストリングスコンサート開催
新日鉄と韓国のポスコ社は9月6日、東京・千代田区の紀尾井ホールで「スチール&ストリングスコンサート」を開催した。両社は2008年から両国でクラシックや日韓の伝統音楽など多彩な音楽交流を行ってきた。今回は韓国

の室内楽グループ・アンサンブル DITTOと、日本の俊英ギタリスト・大萩康司という日韓の若い世代を代表する音楽家による演奏で招待客を魅了した。



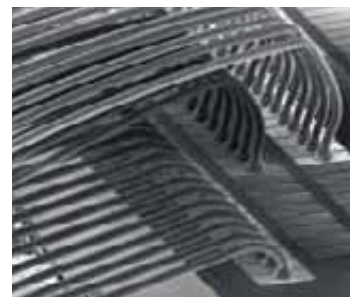
新日鉄 宗岡社長(左端)、POSCO 鄭会長(右から3番目)と出演者



グループ
新日鉄マテリアルズ(株)が新型銅ボンディングワイヤのライセンスを供与
新日鉄マテリアルズ(株)と同じ社子会社で半導体実装材料メーカーの(株)日鉄マイクロメタルは、抜本的な省貴金属とコストダウンを実現するLSI実装用パラジウム単層被覆の新型銅ボ

ンディングワイヤ「EXI」に関する特許について、田中電子工業(株)に対しライセンス供与する契約を締結した。同業ボンディングワイヤメーカーに対するライセンス供与は今回が初めて。新型銅ワイヤのさらなる市場拡大が期待される。

総務部広報センター
▲03-6867-2135



パラジウム被覆新型銅ボンディングワイヤ EX1 実装例